

# 身近なコンビニで行政サービス

## 県内で初めて証明書のコンビニ交付を開始

本町に住む皆さんの住民票の写しや印鑑登録証明書をコンビニエンス・ストアで取得できるサービスが、3月30日から全国のセブン・イレブン約13,000店舗で始まりました。

このサービスは、店内に設置されたマルチコピー機で、多目的利用(自動交付機・コ

ンビニ交付)サービス機能付きの住民基本台帳カード(住基カード)を使い、画面の指示に従い操作すれば証明書の取得ができるもので、県内市町村では初めての取り組みとなります。

同日、セブン・イレブン惣領店で開かれた開始式で住永町長は「今回の取り組みを機に、暮らしやすさ日本一を目指し、さらに豊かな町にしていきたい」とあいさつ。テープカットでサービス開始を祝い、出席した約50人の関係者や報道陣の前で自らがマルチコピー機を操作し、住民票の写しを取得しました。

セブン・イレブンでの証明書取得は、年末年始(12月29日～1月3日)を除く午前6時30分から午後11時まで利用できます。

すでに2月28日に、役場玄関横に設置された自動交付機も稼動しており、住民サービスと利便性向上が期待されます。さらに、店舗数も多く、申請書記入の手間が省け、窓口交付より料金が50円安くなるため、高い利用率が見込まれます。

カードは証明書の自動交付サービスだけでなく、イータックス(国税の電子申告)などにも利用でき、運転免許証を返納した人は身分証明書代わりにも活用できます。4月11日現在で対象者約28,500人(15歳以上)のうち3,035人が所持・申請しています。

4月3日、平成23年度町消防団新幹部および新入団員任命式が役場大会議室で開かれ、町消防団の新体制が整いました。

式では、住永町長から幸隆一団長に任命書が手渡され、幸団長から副団長以下12人の新幹部と各班長33人、新入団員41人に任命書が交付されました。

また、新入団員を代表して工藤健一さん(畑中)が「命令、条例および規則を遵守し、良心に従って忠実に消防の義務を遂行します」と宣誓しました。

式が終ると団員たちは、高遊原南消防署に場所を移し、初期救命手当での講習や規律訓練を受け、町民の生命や財産を守る一翼の担い手として、真剣な表情で取り組んでいました。



宣誓を行う工藤さん

# 防災の一翼を担う若い力

## 町消防団新幹部および新入団員任命式



初期救命手当での講習に取り組む新入団員

### ◆町消防団新幹部(敬称略)

- 団長 幸隆一(辻の城団地)
- 副団長 早田哲也(下小谷)
- 指導員 米原祥之(南)
- 第1分団長 甲斐雅彰(小池秋永)
- 第2分団長 増田優治(東無田)
- 第3分団長 本田寛(惣領2町内)
- 第4分団長 松岡伸二(福富)
- 第5分団長 岩下善彦(辻団地)
- 副分団長 齊藤徹(下寺中塚)
- 副分団長 知名石英二(畑中)
- 副分団長 西田昭吾(南)
- 副分団長 石坂幸司(田原)
- 副分団長 前田俊治(下小谷)

